



第46号

今号の主な内容

- 決算審査.....①~③
- 一般質問/
モニター意見・感想...④~⑤
- 議決一覧.....⑥
- 議会報告会.....⑦
- かつこうのさえずり/
今後の予定.....⑧

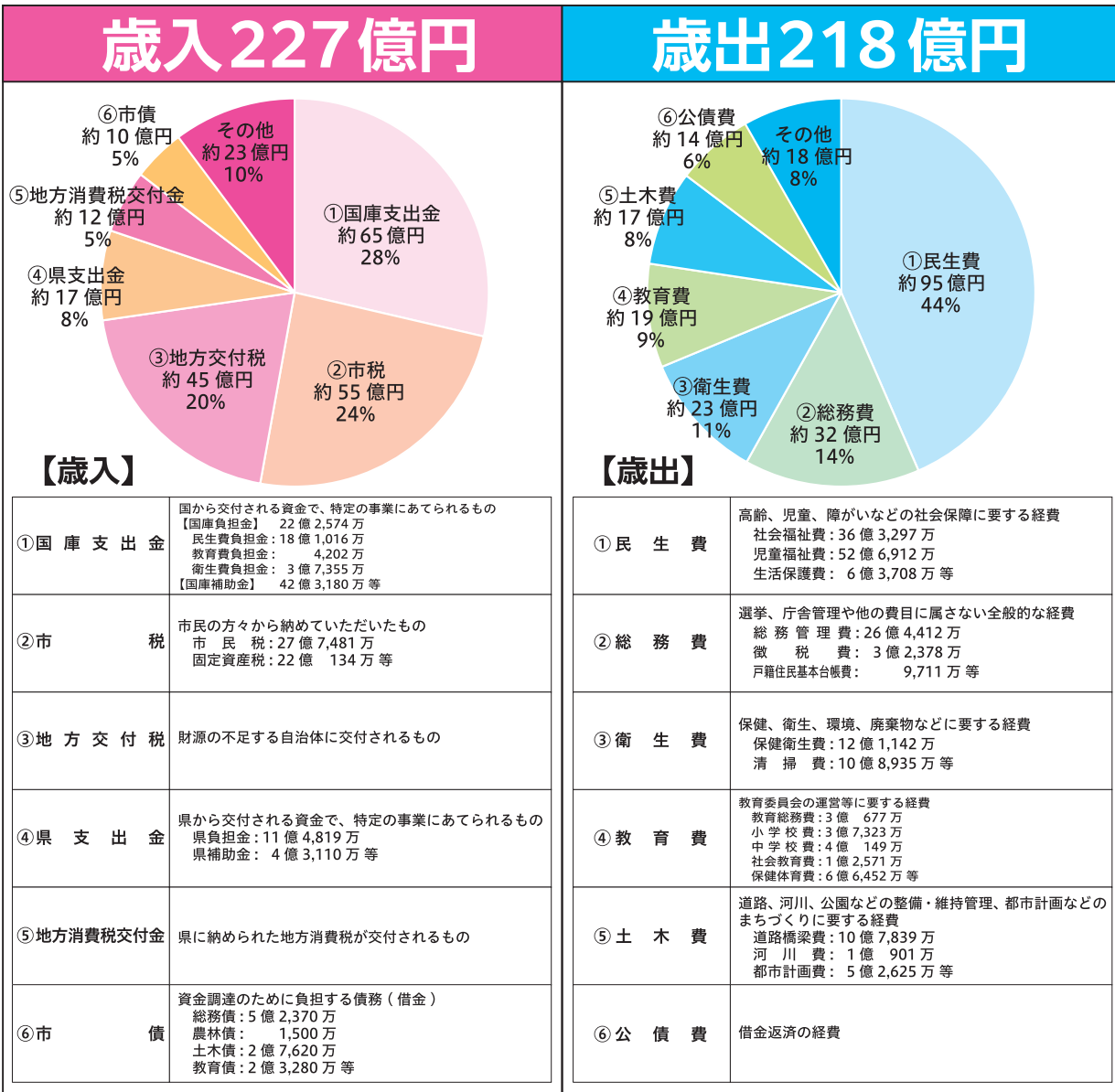
発行責任者：滝沢市議会議長 / 編集：広報常任委員会

令和3年度決算を認定

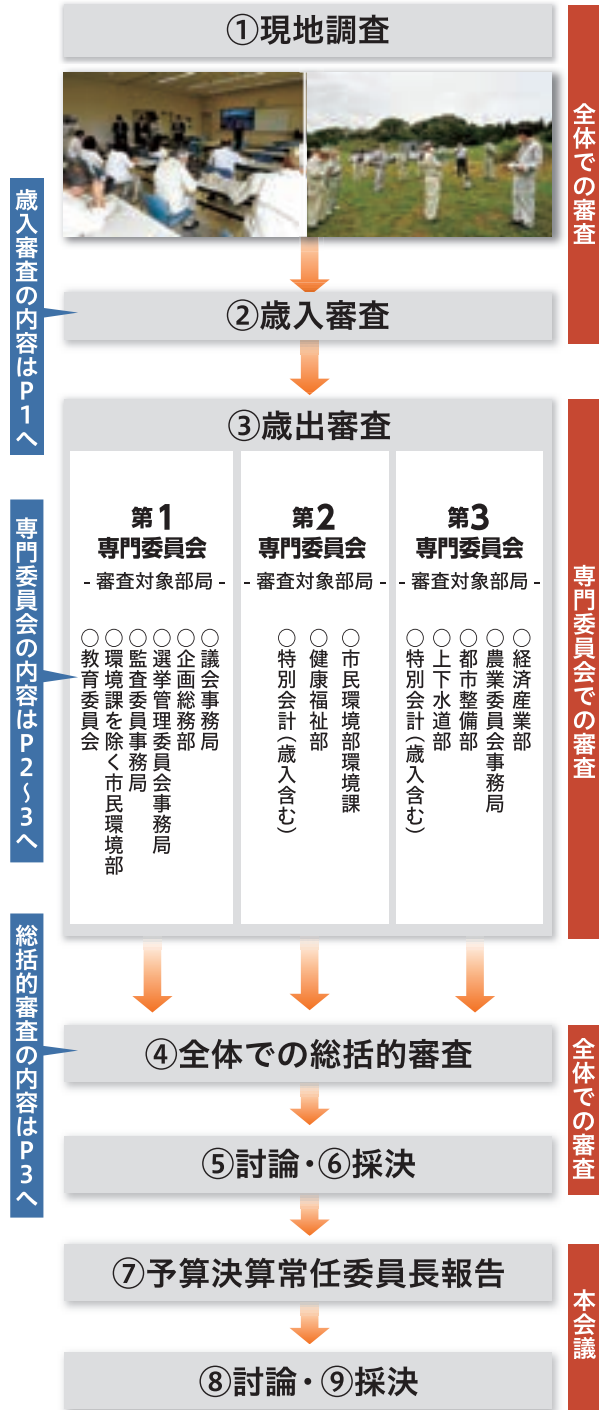
各専門委員会の重点事項および個々の視点に従って審査・認定しました。

3年度もコロナ拡大を受けて交付された国庫支出金などを活用し50を超える事業が実施されました。

【一般会計】



決算審査の流れ



歳入

〔市税〕
市民税や固定資産税で予算額に対して決算での増収の比率が大きいが、その要因・分析結果は、

〔答〕市民税は、3年度に大きな税制改革があり、予算の時に見通しが難しかったことが決算との大きな差となりました。また、納税義務者数の減少を予想していましたが、給与所得者等の増で、義務者が減少しなかったことなどが要因です。

固定資産税は、コロナ対策の軽減分が1億5千万円の予測でしたが、4195万円で済んだためです。新築家屋が280棟の予想に対して337棟で、その分増収となりました。

〔問〕市民税の収納率、個人分99.29%、法人分99.27%の評価は、

〔答〕2年度まではコロナで収納率が落ちていましたが、3年度は徴収猶予の特別措置がなくなり、収納率が上がりました。

〔問〕還付未済額の発生要因は、

〔答〕市民税個人分は、二重納付等による誤納の還付に時間を要しているためです。固定資産税分は、誤納によるもので、還付通知への回答が年度を越したためです。

〔問〕滞納繰越分について、収入未済額が不納欠損にならない対応策は、

〔答〕毎年見直しをして資産調査をしています。

〔問〕当初予算に対し決算額564万円増の要因は、

〔答〕県税を基に配当されるものですが、社会情勢によるものと考えます。

〔地方交付税〕
〔問〕当初予算に対し9億3122万円決算増の要因は、

〔答〕国税の伸びによる交付税原資増により、臨時経済対策費等の交付税が算出されたものです。

〔県支出金〕
〔問〕民生費負担金児童運営費滞納繰越分の収納率が20.15%と低い要因は、

〔答〕平成28年以前の保育料滞納が4人あり、額も大きく分納を行っているためです。

〔問〕放射性物質汚染廃棄物処理事業費補助金は今回で終わりますか。

〔答〕補助金は福島第一原発被害のしいたけ(稲)へのものですが、3年度で終了です。

〔国庫支出金〕
〔問〕特定防衛施設周辺整備調整交付金の充当先は、

〔答〕小中学校の放送設備の改修やトラクターの購入等、総合公園体育館のボイラー更新、子ども医療費助成等の8事業です。

歳出 第3専門委員会【産業建設分野】

重点 観光物産振興について

【審査の視点】

市の特性や地域資源を活用し、各資源の情報発信により交流人口の拡大と経済効果を生み出すことができていたか地域商品推進の状況を確認する

①物産振興について

Q: 特産品開発補助の実績は。
A: 10件の応募で6件の採択をしました。
Q: 開発商品のフォロー体制と販路拡大策は。
A: 市商工会のメニューの活用やふるさと納税を委託管理している市観光物産協会と連携し、販路開拓を行い、売上向上策の支援をしています。

②観光振興について

Q: コロナ禍でのPR体制は。
A: 盛岡広域の各種団体と協力して案内しています。
Q: 地域おこし協力隊の実績は。
A: 催事中止のため市産品のPRを中心に活動しました。
Q: チャグチャグ馬コの訪問内容は。
A: 10～11月に保育園、高齢者施設を訪問し、馬コとのふれ合いを実施しました。

重点 農業振興について

【審査の視点】

生産現場での高齢化・担い手不足や需要の低迷といった状況から、新規農業者の確保と営農の集約化などの活力ある生産体制への取り組みを確認する

①新規就農対策について

Q: 希望者の確保策は。
A: 新農業人フェアに市としてブースを出展し相談受付、県立農業大学校との交流会、各種団体との情報共有をしています。
Q: 定着度合いは。
A: 平成26年度以降、18経営体に交付し、1経営体が離農しています。5経営体は認定農業者となりました。

②農地中間管理について

Q: 前年度比増の要因は。
A: 篠木地区の取り組みに交付金が交付された影響です。
Q: 販売農家の推移は。
A: 担い手の集積率が45.9%から47.8%に上昇しており、成果が出ているものと考えています。

重点 中心拠点形成について

【審査の視点】

都市計画における民間開発としての大きな未来型事業に市民の意向が計画的に反映される状況であるのかを確認する

①中心拠点付近について

Q: 交通網の再整備は。
A: 商業地の店舗の配置が決まり次第、バス業者との検討を実施します。
Q: 接続道路の諸課題は。
A: 盛岡環状線、盛岡滝沢線は振興局と協議済みですが、今後開発者から具体的な道路配置計画の協議があれば安全対策を検討します。

②都市計画について

Q: 市内交通網の再検討は。
A: 中心拠点や小需要地域といった地域に応じた効率かつ必要な地域内交通を検討します。
Q: 産業拠点の集積エリアの考えは。
A: 小さなエリアで分割配置も考慮しながら、関係課と共有協議を行い市内エリアへ配置可能な産業の検討を続けていきます。

その他

除排雪について
Q 4年度の業者の確保見込みは。
A 辞退、縮小の業者もありますが新規、拡大希望もあり充足の見込みです。
Q 自治会賞与の除雪機の安全講習は。
A 安全講習会を12月に実施しており、大型機械は納品時に講習しています。
空き家対策について
Q 適正管理の実績は。
A 所有者への助言を24件行い、11件で改善を確認しています。その他の13件においても苦情が発生していないので改善と認識しています。今後、現状確認をします。
有害鳥獣対策について
Q 被害額が前年比で減少したことに對する評価は。
A 要因としては、電気牧柵の補助の浸透や猟友会へのくくりわなの材料の支給が大きいと考えますが、被害額の申告がないケースや金額には表れない被害も多数見受けられます。



歳出 第2専門委員会【環境厚生分野】

重点 ごみの減量化について

【審査の視点】

第2次環境基本計画の最終計画期間(4年度まで)を踏まえ、「ごみの減量を推進し、資源を循環するまち」を3年度決算審査の重要な視点として捉えたこと

①減量化対策について

Q: 減量化の成果と課題は。
A: ひとり当たりの排出量は減っていますが、目標値には届いていません。生ゴミの水切り、食べ残しの減少を呼びかけています。
Q: ストックヤード設置への対応は。
A: 自治会に補助金を出して設置を促しています。自治会によっては集積所の隣に設置して効果を上げています。

②地域の環境対策について

Q: 衛生指導員は充分か。
A: 定足数の92%(72人)で、定足数には足りていません。
Q: 優良ごみ集積所の選定基準は。
A: 集積所の管理方法の工夫、利用者への分別等の周知方法、使用者の協力体制の3項目で判断しています。
Q: 不法投棄への対応は。
A: パトロールを実施するとともに、自治会への看板配布を行っています。

③減量化対策について

Q: 減量化の成果と課題は。
A: ひとり当たりの排出量は減っていますが、目標値には届いていません。生ゴミの水切り、食べ残しの減少を呼びかけています。
Q: ストックヤード設置への対応は。
A: 自治会に補助金を出して設置を促しています。自治会によっては集積所の隣に設置して効果を上げています。

④地域の環境対策について

Q: 衛生指導員は充分か。
A: 定足数の92%(72人)で、定足数には足りていません。
Q: 優良ごみ集積所の選定基準は。
A: 集積所の管理方法の工夫、利用者への分別等の周知方法、使用者の協力体制の3項目で判断しています。
Q: 不法投棄への対応は。
A: パトロールを実施するとともに、自治会への看板配布を行っています。

⑤減量化対策について

Q: 減量化の成果と課題は。
A: ひとり当たりの排出量は減っていますが、目標値には届いていません。生ゴミの水切り、食べ残しの減少を呼びかけています。
Q: ストックヤード設置への対応は。
A: 自治会に補助金を出して設置を促しています。自治会によっては集積所の隣に設置して効果を上げています。

⑥地域の環境対策について

Q: 衛生指導員は充分か。
A: 定足数の92%(72人)で、定足数には足りていません。
Q: 優良ごみ集積所の選定基準は。
A: 集積所の管理方法の工夫、利用者への分別等の周知方法、使用者の協力体制の3項目で判断しています。
Q: 不法投棄への対応は。
A: パトロールを実施するとともに、自治会への看板配布を行っています。

重点 現金出納の不適切な事務処理

【審査の視点】

情報共有を行い、各課自分の部署に置き換えて再発防止に努めます。

①中心拠点(市役所周辺)の土地利用変換

Q: 土地集約整理は。
A: 市街化区域への編入を実施しましたが、協議中で配置まで完了していません。
Q: 課税額上昇の用途は。
A: 路線価の評価、建物の構造面積によって異なるので未確定です。

重点 空き家と新規就農

【審査の視点】

農地に近い空き家を改修して就農希望者を呼び込む考えは。

①空き家バンクを立ち上げた段階です

Q: 空き家バンクを立ち上げた段階です。現在実施していませんが、希望を伺いながら、今後両担当課が連携して検討します。
Q: 増収の見通し段階での補正の検討は。
A: 当初予算の執行残や、概算額での翌年度精算分もありますので、財政調整基金等により補正予算を措置しています。

重点 多額の不用額が出た要因は

【審査の視点】

コロナ対応の臨時交付金等で、概算年度申請があつたため、翌年度精算という制度の影響が大きいと考えます。

②空き家と新規就農

Q: 農地に近い空き家を改修して就農希望者を呼び込む考えは。
A: 空き家バンクを立ち上げた段階です。現在実施していませんが、希望を伺いながら、今後両担当課が連携して検討します。

③多額の不用額が出た要因は

Q: コロナ対応の臨時交付金等で、概算年度申請があつたため、翌年度精算という制度の影響が大きいと考えます。

⑦ごみ処理広域化

Q: メリット・デメリットの周知の強化は。
A: 一県央ブロックごみ処理広域化新しごみ処理施設の整備について」の冊子を回覧しHPに掲載していますが、今後は



⑧公共施設や教育施設

Q: コロナ対応の臨時交付金等で、概算年度申請があつたため、翌年度精算という制度の影響が大きいと考えます。

⑨水質改善

Q: 河川のごみ回収の対応は。
A: 不法投棄は発見・通報の際には河川課・環境課で処理しています。生ごみへの対応はしていません。

⑩人件費と時間外勤務

Q: 前年比増の要因は。
A: コロナワクチンの接種員への報酬等や採用・退職・昇給・昇格等の給与、退職者増、ワクチンや選挙の時間外等の手当により増加しています。

⑪産業振興条例の成果

Q: 市内業者への公共事業、委託事業の発注件数と金額の前年比の伸びは。
A: 年度により件数、金額も異なるため比較は難しいですが、3年度は64.2%の件数の受注で前年度より割合が向上しています。

歳出 第1専門委員会【総務教育分野】

重点 安全で安心できるまちづくりについて

【審査の視点】

消防団員のなり手不足の解消、防犯交通安全施設の地域要望に対する実施率など

①消防団等活動事業について

Q: 団員確保の手立ては。
A: 各分団での勧誘活動や各種イベントにおけるPR活動を行いました。

③防犯交通維持管理事業について

Q: 道路反射鏡2基の新設した個所と費用は。
A: 小岩井地区と野沢地区の2基で、費用は26万7千円です。
Q: 市民要望への対応は。
A: 採否は市民に文書で回答しています。



②災害対策事務について

Q: 防災倉庫は完成したが、防災資機材のストック状況の公表は。
A: 防災リーダー研修会や各地で開催した出前講座で公表しています。

重点 安全安心な教育施設の整備について

【審査の視点】

学校からの施設整備改善要求に対して、整備がなされ教育環境の充実は図られたか(雨漏り、フェンス、老朽化、段差解消、非常階段改修等)

①小学校について

Q: 決算の内訳と電気料金の推移は。
A: 物品購入費1,286万、公共料金6,239万、施設の点検926万、補修費12万、電気料金は2年度3,630万、3年度4,109万です。
Q: 補修工事、空調設備の整備の内容、および老朽化への対応は。
A: 滝沢第二小の消火栓ユニット工事239万、一本木小99万、姥屋敷小中受水槽95万など50件に対応しました。

②中学校について

Q: 決算の内訳と電気料金の推移は。
A: 公共料金3,269万、物品購入費753万、施設の点検426万、補修費7万、電気料金は2年度1,907万、3年度は2,180万です。
Q: 施設の維持管理に係る補修工事の内容は。
A: 滝沢南中武道場120万、防水90万、プール補修35万等27件に対応しました。

歳出 第2専門委員会【環境厚生分野】

重点 高齢者支援について

【審査の視点】

高齢者支援について
Q 老人クラブの課題は。
A クラブの運営役員の高齢化が進んでおり、役員の手が足りないため、存続の危機となっています。

①保育所・放課後児童クラブの施設環境について

Q: 学童保育の実情は。
A: 全体で3年度は883名、4年度は846名で70名超えの施設はなくなりました。
Q: 施設整備の実績は。
A: 川前学童の公共下水道接続工事、2年度の繰越事業で南菓子保育園の遊具修繕、オイルタンク更新、姥屋敷保育所の遊具修繕等です。

②保育園について

Q: 病児保育の実態は。
A: 市内2カ所、市外4カ所の利用ができるようになったので、苦情は出ていません。
Q: 待機児童の推移は。
A: 3年度は7名、4年度は28名と増えました。4月時点で0歳児は減少し、1歳児が25名増え、受け入れ人数の空きがなくなっています。

③緊急通報システムの実績は

Q: 緊急通報システムの実績は。
A: 3年度の通報は1377件のうち緊急性の高い案件が14件、その中で救急車の手配が5件です。利用者が減少してきています。
Q: 福祉バスの現状は。
A: 現在は陸大学の生徒を増やすためですが、現在は通学する手立てがない方の交通手段となっています。

④緊急通報システムの実績は

Q: 緊急通報システムの実績は。
A: 3年度の通報は1377件のうち緊急性の高い案件が14件、その中で救急車の手配が5件です。利用者が減少してきています。
Q: 福祉バスの現状は。
A: 現在は陸大学の生徒を増やすためですが、現在は通学する手立てがない方の交通手段となっています。

⑤緊急通報システムの実績は

Q: 緊急通報システムの実績は。
A: 3年度の通報は1377件のうち緊急性の高い案件が14件、その中で救急車の手配が5件です。利用者が減少してきています。
Q: 福祉バスの現状は。
A: 現在は陸大学の生徒を増やすためですが、現在は通学する手立てがない方の交通手段となっています。

⑥緊急通報システムの実績は

Q: 緊急通報システムの実績は。
A: 3年度の通報は1377件のうち緊急性の高い案件が14件、その中で救急車の手配が5件です。利用者が減少してきています。
Q: 福祉バスの現状は。
A: 現在は陸大学の生徒を増やすためですが、現在は通学する手立てがない方の交通手段となっています。

重点 「生きる力」を育てる学校教育の充実について

【審査の視点】

コロナ禍において、児童生徒が通常の学校生活を送れるようにするための学校の対応・経済的支援・不登校児童生徒・不登校児童等

①就学援助・就学奨励事業について

Q: ここ数年、増加している要因は。
A: コロナ禍の影響や家庭環境の変化などで、経済的に困窮する家庭が増加しているためと思われます。
Q: 保護者への経済的支援を行うこの事業は減少していくことが望ましいが、その対策は。
A: 教育委員会だけでなく、全庁にわたって、またほかの機関とも協力して支援していく必要があります。

②不登校児童生徒解消対策事業について

Q: 不登校がここ数年増加している要因は。
A: コロナ禍の影響などが挙げられますが、学校、家庭、関係機関の緊密な連携を図り、適応指導教室「フレンド滝沢」を運営し、児童生徒の適応指導に努めています。

重点 職員の研修について

【審査の視点】

職員研修事業について
Q 働きやすい職場研修等の成果や今後の課題は。また、近年、若い職員が辞めていくケースが増えているがその対応は。
A 働きやすさや、やりがいのある職場づくりを目的としています。また、メンタルヘルスにも力を入れています。

①小学校について

Q: 決算の内訳と電気料金の推移は。
A: 物品購入費1,286万、公共料金6,239万、施設の点検926万、補修費12万、電気料金は2年度3,630万、3年度4,109万です。
Q: 補修工事、空調設備の整備の内容、および老朽化への対応は。
A: 滝沢第二小の消火栓ユニット工事239万、一本木小99万、姥屋敷小中受水槽95万など50件に対応しました。

②中学校について

Q: 決算の内訳と電気料金の推移は。
A: 公共料金3,269万、物品購入費753万、施設の点検426万、補修費7万、電気料金は2年度1,907万、3年度は2,180万です。
Q: 施設の維持管理に係る補修工事の内容は。
A: 滝沢南中武道場120万、防水90万、プール補修35万等27件に対応しました。

重点 子どもの子育て支援について

【審査の視点】

「子どもや子育て世代への支援」と、後期基本計画で示されている展開戦略である「若者定住」に着目し重要な視点と捉えたこと

①治し支える医療への取り組みについて

Q: 休日当番医に発熱外来も必要では。
A: 岩手西北医師会からも指摘されており、今後も医師会等と協議します。
Q: オンラインによる在宅診療は。
A: オンライン診療は好ましい手法なので、情報収集に努めます。
Q: 在宅医療のあるべき姿は。
A: 西北医師会を始め、関係機関、団体と現状を把握して課題について共有し、検討します。

②在宅生活を支える医療と介護の連携について

Q: 患者輸送車の現状は。
A: 年々利用者が減少しています。
Q: 北部地域包括支援センターへの評価は。
A: 「近くに相談場所ができて良かった」迅速に対応してもらっている」との民生児童委員の声から、良好と評価しています。

重点 子どもの子育て支援について

【審査の視点】

「子どもや子育て世代への支援」と、後期基本計画で示されている展開戦略である「若者定住」に着目し重要な視点と捉えたこと

①保育所・放課後児童クラブの施設環境について

Q: 学童保育の実情は。
A: 全体で3年度は883名、4年度は846名で70名超えの施設はなくなりました。
Q: 施設整備の実績は。
A: 川前学童の公共下水道接続工事、2年度の繰越事業で南菓子保育園の遊具修繕、オイルタンク更新、姥屋敷保育所の遊具修繕等です。

②保育園について

Q: 病児保育の実態は。
A: 市内2カ所、市外4カ所の利用ができるようになったので、苦情は出ていません。
Q: 待機児童の推移は。
A: 3年度は7名、4年度は28名と増えました。4月時点で0歳児は減少し、1歳児が25名増え、受け入れ人数の空きがなくなっています。

③緊急通報システムの実績は

Q: 緊急通報システムの実績は。
A: 3年度の通報は1377件のうち緊急性の高い案件が14件、その中で救急車の手配が5件です。利用者が減少してきています。
Q: 福祉バスの現状は。
A: 現在は陸大学の生徒を増やすためですが、現在は通学する手立てがない方の交通手段となっています。

④緊急通報システムの実績は

Q: 緊急通報システムの実績は。
A: 3年度の通報は1377件のうち緊急性の高い案件が14件、その中で救急車の手配が5件です。利用者が減少してきています。
Q: 福祉バスの現状は。
A: 現在は陸大学の生徒を増やすためですが、現在は通学する手立てがない方の交通手段となっています。

⑤緊急通報システムの実績は

Q: 緊急通報システムの実績は。
A: 3年度の通報は1377件のうち緊急性の高い案件が14件、その中で救急車の手配が5件です。利用者が減少してきています。
Q: 福祉バスの現状は。
A: 現在は陸大学の生徒を増やすためですが、現在は通学する手立てがない方の交通手段となっています。



一般質問《9月会議》

9月5日～7日に一般質問を行いました。



全ての内容は動画で視聴できます。HPで検索いただくかQRコードを読み取ってご覧ください。



防災行動計画の策定について

○全ての遊具が利用できる方法について



問 降灰10cmの火山災害発生後、市民の生活環境を保持するための防災行動計画の策定は。

答 条件により変わりますが、本市以外でも広範囲での降灰が予想されます。日常生活の支障を取り除くためには、多様な事業者の広域的な取り組みが必要と考えます。

問 防災前、平時と異なる緊急事態であることをはっきりと伝えるために「バイアス」を研究、そして

は、年に1回の法定点検を毎年度行っています。また、劣化判定基準に基き得られた判定結果が「使用禁止」となった遊具は、滝沢市都市公園等遊具更新計画に基づき計画的に整備・更新を進めています。

なお、その対象となった遊具は更新あるいは撤去の意向について、自治会より確認した上で対応しています。

は、年に1回の法定点検を毎年度行っています。また、劣化判定基準に基き得られた判定結果が「使用禁止」となった遊具は、滝沢市都市公園等遊具更新計画に基づき計画的に整備・更新を進めています。

なお、その対象となった遊具は更新あるいは撤去の意向について、自治会より確認した上で対応しています。



スマート農業について

○スマート農業について

○コロナ禍の学校教育について



問 スマート農業の進捗状況は。

答 現在、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、スマート農業からキック仕組みづくり事業を実施しています。本事業は地域農業の担い手となる法人に対してICT農業機械の導入に補助を行うものです。対象地区の方々に説明会と研修会を行い、一般社団法人が設立しました。現在は、対象3地区に

おいてICT農業機械の導入や地域の実情に合った法人の運用体制の構築について、話し合いを進めています。

問 コロナ禍による児童生徒の生活の変化とその対応は。

答 常時マスク着用が大きな変化と捉えています。基本的な対策をしながら、子どもたちの健やかな学びを保障します。

おいてICT農業機械の導入や地域の実情に合った法人の運用体制の構築について、話し合いを進めています。

問 コロナ禍による児童生徒の生活の変化とその対応は。

答 常時マスク着用が大きな変化と捉えています。基本的な対策をしながら、子どもたちの健やかな学びを保障します。



ふるさと納税について

○ふるさと納税について

○災害避難所等の周知と充実について



問 3年度本市のふるさと納税の実績は3380万円で14市の平均の約4%である。この実績に対する見解は。

答 ポータルサイトの追加や返礼品の見直し、追加を行いました。昨年度比で減少となりました。返礼品情報の提供や新たな返礼品の掘り起こしなど、更なる取り組みの強化を行います。

問 ふるさと納税の現状を市民に説明して協力を

求めるべきでは。

答 市民から県内外にいる方へ市のふるさと納税について広く知っていただく取り組みを行います。

問 災害避難所の市民への周知は。

答 28避難所のうち15か所に看板を設置しており、今後も順次整備を進めていきます。

今年度中に防災マップを更新する予定であり、各戸配布により改めて避難所の周知を図ります。

求めるべきでは。

答 市民から県内外にいる方へ市のふるさと納税について広く知っていただく取り組みを行います。

問 災害避難所の市民への周知は。

答 28避難所のうち15か所に看板を設置しており、今後も順次整備を進めていきます。

今年度中に防災マップを更新する予定であり、各戸配布により改めて避難所の周知を図ります。



コロナ対策について

○農業経営支援について

問 本市のコロナワクチン接種状況は。

答 9月1日現在、12歳以上の市民に対する3回目接種率は74・2%、60歳以上の4回目接種率は48・2%です。

問 高齢者施設および介護施設での接種状況は。

答 4回目の接種は、9割以上の施設で8月までに完了しています。

問 本市のワクチン接種市町村輸送機能強化事業の実施状況は。

申請により一人当たりタクシー券2千円分を昨年度は84人、今年度は8月17日時点で81人に交付しています。

問 水田活用直接支払交付金の維持・拡充および細地化への支援は。

答 主食米以外の作物を生産する農家に対する交付金の見直しは、今後の営農や地域農業への影響を危惧しています。

問 飼料価格安定制度の補てんの仕組みと肉用牛

肥育経営安定交付金および豚肉経営安定交付金の制度は。

答 必要に応じてこの制度を発動しています。県や他市町村と連携を図りながら、国への要望を継続します。

問 肥料価格安定対策および堆肥・稲わらなどの利用拡大支援は。

答 知識や技術の向上につながるような機会の創出を検討します。



滝沢市総合福祉センター(仮称)建設要望について

○歩行者の安全確保について

○埋蔵文化財センターの利用促進について等



問 市内21福祉関係団体から、現在の福祉センターは手狭であり、積極的に活動していくために、総合福祉センター機能を有した新たな拠点となる施設が必要との要望は。

答 今後少子高齢化が進展する中、複種・多様化する福祉ニーズに対応するため、各関係機関と連携し、包括的な相談支援の体制づくりに向けて、関係者間の話し合いや検討が重要と考えます。

総合福祉センターという名称の施設が県内14市の中で唯一無いが必要活動を積極的に支援する。また、地域づくりを具体的に進め、その手段となる施策や地域の取り組みなどを整理します。

また、保健・福祉等の既存の施設や関係団体の事業運営状況も含め、その必要性や活用について検討します。

問 要望に対し第2次滝沢市総合計画への反映は。

答 「市民の主体性および自立性を尊重し、その活動を積極的に支援する」とともに、地域づくりを具体的に進め、その手段となる施策や地域の取り組みなどを整理します。

また、保健・福祉等の既存の施設や関係団体の事業運営状況も含め、その必要性や活用について検討します。



再生可能エネルギーの普及について

○児童発達支援、放課後等デイサービスについて

○女性デジタル人材の育成について



問 普及の取り組みは。

答 公共施設の新設や改修の際には活用を検討します。また、一般家庭等へは、国や県の補助事業の周知を行っています。

問 山林や休耕地への建設の環境問題対策は。

答 自然環境や景観、防災的な機能維持は重要と考え、事業の把握に努めるとともに、事業者へ周辺環境への配慮や地域住民への説明等を促します。

問 ガイドライン整備の

考えは。

答 国のガイドラインに基づき対応します。内容は、市のHPへも新たに掲載し周知しました。

問 現状の問題点、懸念事項は。

答 施設に起因する被害等の相談は、2年度から今年度まで1件ずつで雨水流入や草の繁茂、太陽光パネルの損壊といった内容です。業者によっては指導に直ちに応じず複数回にわ

たり指導を行っています。

問 設置業者の管理徹底を求める考えは。

答 定期的な巡視、点検の実施や維持管理に係る実施計画の策定および実施体制の構築といった適正な管理について指導します。



児童発達支援、放課後等デイサービスについて

○児童発達支援、放課後等デイサービスについて

○女性デジタル人材の育成について



問 児童発達支援、放課後等デイサービスの利用ニーズの把握は。

答 市は自立支援協議会と相談支援分科会を月2回開催し、利用者のニーズの把握に努めています。また、窓口相談でニーズを把握しており、障がい者計画策定の際にもアンケート調査を行い、把握に努めています。

問 児童発達支援事業の利用者の受け入れ数が少ないのは。

現在、児童発達支援事業所が4箇所、放課後等デイサービス事業所が5箇所あり、利用者の定員は合計90人です。

問 若手県立大学やPUIノベーションセンター入居企業との連携による人材育成は。

答 デジタル人材の育成は、市の重点的な取り組みであり、事業実施の際には内容や情報発信の仕方を工夫するなど、女性が参加しやすい事業としていきます。

現在、児童発達支援事業所が4箇所、放課後等デイサービス事業所が5箇所あり、利用者の定員は合計90人です。

問 若手県立大学やPUIノベーションセンター入居企業との連携による人材育成は。

答 デジタル人材の育成は、市の重点的な取り組みであり、事業実施の際には内容や情報発信の仕方を工夫するなど、女性が参加しやすい事業としていきます。



県央ごみ・し尿処理広域化について

○あさひが丘団地の公共下水道化について

問 ごみ処理施設の建設費や運営費の高騰、市民の負担増の内容は。

答 基本構想の策定以降、資材費や人件費の高騰による影響が見込まれ、皆さんにはごみの分別方法の変更を考えています。また、プラスチック製品の分別収集を検討している。令和3年度実績は522gとわずかに減少しています。

問 建設に当たっての準石川の越水や氾濫等への対策、堤防工事の計画は。

答 整備予定地は盛岡防

状況ですので、引き続き市民にごみ減量化の周知を図ります。

問 あさひが丘団地の下水を円滑に公共下水道に

答 公共下水道につながるための諸方策は、公共下水道に

問 公共水道加入の個人負担の概算額の提示は。

答 今後予定の懇談会で説明してまいります。



歩行者の安全確保について

○埋蔵文化財センターの利用促進について等



問 側溝の蓋整備による歩道の確保は。

答 関係機関との協議や情報共有を図り、市全体で交通安全対策について検討します。

問 防犯灯の整備は。

答 現地調査による確認をもとに、優先度を決定し対応します。

問 胃がん検診で、希望者への内視鏡カメラによる検査導入は。

答 実施体制の構築体制が必要であることから、

現時点での実施は難しいと考えています。

問 埋蔵文化財センターへの除雪機の配置は。

答 4年度、新たに小型ロータリー除雪機を導入することとし、11月に納入予定です。

問 別室登校の生徒のための学習室で、つまずき

答 掲示内容も含めて案内板の改修を検討します。

問 環状列石広場でのイベント開催は。

小学校の社会科見学やイベント開催を通して利用促進につなげます。

問 不登校児童生徒に対する登校支援室の設置は。

答 別室登校の生徒のための学習室で、つまずきへの対応により、学習への意欲を高め、抱える悩みを相談に対応することで、学級で学習することができるよう支援してまいります。

議会モニターさんの意見・感想

議会だより第44号でいただいたご意見、感想を掲載します。

【意見】

★ 会派代表質問

○ ヤングケアラーの問題は最近ニュース等でも取り上げられています。市内の実態も気になりました。

★ 当初予算

○ 1面に当初予算総額と重点施策が掲載されているが、残りのお金は何に使われようとしているのかわからない。分野別の総額をグラフ化したものを掲載し、予算の動向がつかめるようにした方がよかったですのではないかと。

○ グラフは一体化し、一方を棒グラフ、一方を折れ線グラフで示した方が見やすくてよかったですのではないかと。

○ イラストの使い方に工夫がほしかったように思う。

【感想】

○ 今回の会派代表質問のページは、行間が少し広くなったように見やすかったです。

○ 保育園児の写真が掲載されているが、次代を担う園児の笑顔がほほえましく、かつ滝沢市のシンボルでもある岩手山もしっかり入っており、とても好感が持てた。

○ 4年度歳入歳出予算の全用途予算審査での委員会質疑の内容がうまくまとめられていた。

○ 4年度予算に関し、各会派が目している点が明らかになっており、当局側も予算執行にあたっての参考になったのではないかと。

《新シリーズ「かつこうのさえずり」について》

○ 一流と呼ばれる人の言葉には重みがありました。このような取り組みは良いと思います。

○ 今回の号から始まったシリーズ、大変面白く拝読した。不定期といわず、ぜひ毎号掲載してほしい。

○ 地域の中で活躍する人々を取り上げていくシリーズのようですので、取材が大変だとは思いますが、不定期ではなく毎号掲載されることを希望します。

議会報告会～おでんせ会議～

7月14日(木)～7月30日(土)の間、市内8会場において11回目の『議会報告会』を開催しました。対面形式での開催は3年ぶりとなります。今年は、コロナ禍による人数制限などもありましたが、100名近くの方々にご参加いただきました。

議会報告会でいただいたご意見のうち、主な内容を一部掲載します。詳細は市議会のHPに掲載していますので、ご覧ください。今回いただいた課題やご意見は、市民の方々の切実な声として受け止め、議会活動に反映させていきます。

①篠木自治会 7月14日(木) 滝沢市多目的研修センター



【農地の集約化について】
●私は農地を提供した側ですが、受けた方が大変な思いをされていて、申し訳ない気持ちがある。本当に大丈夫なのか心配。
■制度的には、ありがたい制度です。問題は担い手側の高齢化で、10数年間の契約の課題と考えます。このことも踏まえ、また市の支援関係も含めてしっかり精査していきたいと考えています。

【ごみ処理の広域化について】
●新たな交通渋滞の懸念やどのような形式の処理場になるかなど、広く多くの市民に説明があるべきでは。
■説明会の件も含めて、議会としても多くの議員が一般質問等で質疑をしましたが、当局側の説明は、場所の選定後ということで、明確な回答は得ていません。5年程度から一部事務組合が設立され、議会としてもより注視し、議論を深めていきます。

②大釜上・南自治会 7月15日(金) 大釜地区コミュニティセンター



【公園の遊具について】
●公園のブランコが、壊れているが4年程度で新規取り付けになるのか。
■早期に撤去、設置できるような働きかけていきます。
【ゴミの広域化について】
●ゴミ処理の広域化に伴い、交通渋滞が起こるのではないかと。
■具体的な問題については、今後の調整会議で決定されます。

【タブレット授業について】
●小中学校のタブレットのメリットとデメリットは。
■メリットとしては、子どもたちは直感で覚える事ができます。デメリットとしては、Wi-Fi環境が各家庭で異なるため、自宅で使用できない家庭も出てきます。

③元村地区自治会 連絡協議会 7月16日(土) 滝沢ふるさと交流館



【安全な通学路について】
●スクールガードの支援をお願いしたい。子ども達が下校時に歩道をふざけながら歩いて危険、ガードレール等の対策が必要。
■議会としても予算決算委員会、一般質問等で各議員が取り上げています。今後も議会で取り上げていきます。市では毎年、県道16号の拡幅、整備の要望書を県に上げています。議会も早期の対応を見据えて県に働きかけていきます。

【美化運動について】
●諸葛川の草刈への市の支援は。
■河川課を通して毎年、県に要望しています。
【あすみの盛り土について】
●この問題を行政監査でお願いしたい。
■国の指針に沿って、市当局と議会でも対応していきます。

④小岩井自治会 7月23日(土) 小岩井地区コミュニティセンター



【公民館の移転について】
●小岩井公民館の老朽化が激しく、早急な建設が必要。建物だけでなく、駐車場も必要。災害時の避難場所としても、コメンだけではどこにも足りない。
■市には公民館を必要としているところが多数あり、優先順位を考慮し進めています。

【総合福祉センターについて】
●総合福祉センター建設の陳情は、20数団体が要望したものがなぜ不採択になったのか。具体性があるかどうかではなく、方向性の問題では。議会が門前払いは、陳情などでできないのではないかと。
■実現性や具体的な提言がないというので議会として判断できないという意見もありました。議会として責任を持たなくてはならないと考えています。賛成も半分いるので、これからも協議していきます。

⑤いずみ巣子NT自治会 7月23日(土) いずみ巣子NT集会所



【集会所の新設について】
●新設に向けた今後の取り組み方は。
■助成金の活用・自治会負担金の事例・他の地域の状況報告等を情報提供し、今後、担当課と具体的な協議を進めることを提案します。



【公園の遊具について】
●遊具を設置するためには。
■遊具の設置等を含め、具体的な要望を担当課と協議することが必要です。

⑥鶉飼地域づくり 推進委員会 7月25日(月) 滝沢NTニューシビックセンター



【中心拠点(商業地)について】
●議会でも十分な審議が必要では。
■議会でも具体的な情報の確認はしていないのが実情ですが、今後協議していきます。
●地域への周知の対応方法は。
■今後予定している把握しています。また、地域に対してアンケートなど行っているため、その反映等今後検討していく必要があります。

【若者定住に関して】
●4年度の予算にどのように反映されているか。
■保育士のアパート借上げの予算の拡大と継続、学童クラブから要望の出ている施設の整備対応等に反映されています。
●スマートIC周辺の企業立地を検討すべきでは。
■第2次総合計画に向けて質疑します。

⑦巣子・南巣子・ 長根・川前自治会 7月26日(火) 葉の木沢山活動センター



【横断歩道の設置と歩道の安全性について】
●横断歩道を設置する方法は。
■設置基準に沿って設置はされているが、自治会の要望を進めていくことも重要です。

【菓子保育園跡地の利用】
●3年4月、跡地利用について市に要望をしたが、回答がない。今後、利用目的等を示して行くことが必要では。
■高齢者が増加していることから買入れ物ができる場所は必要と考えます。今後、立地条件も含め住民の方の意見集約をし具体的な案を見出していくことが重要です。

【川前学童クラブについて】
●川前学童クラブの老朽化と水没の危険性の回避等の対応として、新設に向けた検討を進めているが。
■議会としても委員会でも善処していきたいと考えています。

⑧姥屋敷自治会 7月30日(土) 姥屋敷多目的研修センター



【小中学校の修繕と統合について】
●姥屋敷小中学校の修繕要望の項目は。
■校庭の舗装、職員室の床、トイレの洋式化等です。
●姥屋敷小中学校の屋根の修繕要望は。
■市内小中学校の屋根の修繕全体で順次計画を立て、また、3年から始まった「滝沢市の学校教育の在り方検討委員会」での学校の統廃合などの方向性も考慮して、適正な時期を逃さないように修繕していきます。

【道路の拡幅化や整備について】
●地域で造った道路の舗装化は。
■舗装化すると事故の多発化につながるため、緊急車両もその道路を使用しないことになっています。
●鬼越の開拓道路の拡幅・草刈りを行って欲しい。
■拡幅は、議会として要求していきます。草刈りは、担当課に早急に対処してもらいます。

令和4年8月会議(8月5日) 議案2件を審議可決

★可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

議案第1号	4年度一般会計補正予算(第3号)…118,743千円
議案第2号	財産の取得に関し議決を求めることについて

補正予算(第3号)《主な事業を抽出》

●農業資材価格等高騰対策支援給付金給付事業	…79,543千円
●物価高騰対策経営支援事業	…39,200千円

令和4年9月会議(9月1日～27日) 議案13件・諮問1件・認定7件・請願1件・付託陳情1件・発議1件を審議可決

★可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

議案第1号	4年度一般会計補正予算(第4号) ……49,583千円
議案第2号	4年度一般会計補正予算(第5号) ……710,888千円
議案第3号	4年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) ……80,171千円
議案第4号	4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ……5,645千円
議案第5号	4年度介護保険特別会計補正予算(第2号) ……72,889千円
議案第6号	4年度介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) 518千円
議案第7号	4年度下水道事業会計補正予算(第1号) ……9,586千円
議案第8号	市議会議員及び市長の選挙運動の公営に関する条例の一部改正
議案第9号	個人番号の利用に関する条例の一部改正
議案第10号	市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
議案第11号	子ども、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭医療費給付条例の一部改正
議案第12号	3年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
議案第13号	3年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
認定第1号	3年度一般会計歳入歳出決算の認定
認定第2号	3年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
認定第3号	3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
認定第4号	3年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
認定第5号	3年度介護保険介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定
認定第6号	3年度水道事業会計決算の認定
認定第7号	3年度下水道事業会計決算の認定
請願第1号	4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願
発議第1号	4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書

補正予算(第4号)《主な事業を抽出》
※8月豪雨災害復旧

●市道等維持管理事業	…14,000千円
●河川維持管理事業	…12,500千円
●林道等維持管理事業	…12,223千円
●相の沢牧野管理事業	…6,819千円
●小学校校舎等補修事業	…1,967千円
●環境衛生事業	…1,294千円
●土地改良補助事業	…780千円

補正予算(第5号)《主な事業を抽出》

●コロナワクチン接種事業	…194,668千円
●子どものための教育・保育給付委託事業	104,218千円
●生活保護事業	…59,501千円
●低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯以外分)	…38,400千円
●小・中学校校舎等補修事業	…7,722千円
●コロナ感染症生活困窮者自立支援金	…6,800千円
●社会資本整備総合交付金の事業費調整	…△50,396千円
災害対策事務	…1,437千円
国道4号交差点接続部整備事業	…△41,839千円
橋梁維持補修事業	…△9,994千円

★否決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

付託陳情第2号	大釜西地域・道路整備についての陳情書
---------	--------------------

★上記の内、賛否が分かれた議案

結果 ○賛成 ×反対	議席番号5は空席																						
	1	2	3	4	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
※日向清一議員は議長であるため、採決には加わりません。	奥津一俊	菅野福雄	佐藤澄子	日向裕子	遠藤秀鬼	川口清之	仲田孝行	小田島清美	井上仁	松村一	齋藤明	長内信平	柳橋好子	山谷仁	相原孝彦	稲荷場裕	角掛邦彦	藤原治	日向清一	表決議員数	賛成票数	反対票数	
認定第1号	3年度一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	18	15	3	
認定第2号	3年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	18	16	2
認定第4号	3年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	18	16	2
付託陳情第2号	大釜西地域・道路整備についての陳情書	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	※	18	5	13	

★討論

認定第1号 3年度一般会計決算	認定第2号 3年度国民健康保険特別会計決算	認定第4号 3年度介護保険特別会計決算
【反対】 藤原治 議員 収支が大幅な黒字となったことは望ましいが、歳入の予算額と決算額では乖離がありすぎたと考えます。歳入は、歳入の見通しが予算編成に大きく影響したものと推察します。経常経費を除いた限られた予算の範囲で、優先順位を決め、そのために解決されない事業、特に学校施設関係の維持補修事業が多くなることが今回の審査で明らかになったと考えます。また、これまで何度も「検討します」との回答を受けていた事業について、当決算でも成果・進展は見受けられませんでした。以上から、今回の決算は容認できるとは言い難いと考え、反対します。	【反対】 仲田孝行 議員 (日本共産党) 本決算案は、歳入額は前年度比6.5%増の約50億1,600万円余で、健康保険税が前年比3.2%減の8億8,200万円余です。歳出面では、保険給付費が8.9%増の35億900万円余で被保険者への支援は維持されています。国は今年度から未就学児の均等割を半額としました。収入のない子どもにも税負担を求める均等割負担の不当性を認めざるを得ませんでした。国保加入者の願いである「くらしを成り立たせ、協会けんぽなみの、現在の半額程度の保険料で、安心して受診できる公的医療制度」を求め、反対討論とします。	【反対】 川口清之 議員 (日本共産党) 介護特別会計予算額は2年度40億2,000万円に対し、3年度41億1,948万円と微増です。歳入は一号被保険者保険料が10億1,562万円となっています。政府は、コロナで経営難となっている事業所への「救済策」として、通所介護、ショートステイなどの報酬を加算しました。サービスの内容は変わらないのに利用料が跳ね上がり、コロナ禍で苦しむ利用者・家族に追い打ちがかけられる事態に、憤りの声が上がっています。国費の大幅な投入はもちろんです。本市も独自の保険料の減免、利用料の補助等の支援策をとるべきと考え、反対討論とします。

議会力UP!!

市民議会開催決定!!

テーマ

「私が滝沢市議会議員になったら “ココ”に力を入れます」

日時：令和5年1月29日(日) 10時
場所：市役所4階 議場

※コロナ感染拡大の状況により、オンライン開催となる場合があります。

募集対象：市内に住所を有するものおよび市内で活動を行うもののうち25歳～49歳/先着8組

応募方法等は、市議会のホームページに掲載します。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

ようこそ、佐伯市議会のみなさん



7月27日(水)、大分県佐伯市議会の行政視察対応をしました。相原議会運営委員長を中心に「議会改革に向けた取り組み」や「議会サイクル」について説明をしました。



7月28日(木)、滝沢市役所201会議室において、議会アドバイザーである大正大学社会共生学部教授の江藤俊昭氏を講師に招き、「議会評価」に関する講演会を開催しました。

議員研修会を実施



8月25日(木)、岩手県立大学総合政策学部講師の杉谷和哉氏と議会アドバイザーである太田晴輝氏を講師に招き、「政策評価」や「滝沢市議会としての取組と議会評価」に関するご講演をいただきました。



かっこうのさえずり No.3

市民のみなさんの声をシリーズでお届けします。



プロフィール

- 胆沢郡金ヶ崎町出身
- プレタポルテ(服飾)に従事
- 現在は、市主任児童委員として活動中
- 特定非営利活動法人 Future Seeds 副理事長
- 趣味は、登山、ハイキング



子どもたちの未来に種をまこう 葛巻 亮子さん(元村東)

◎私が最も伝えたいこと

(1) 孤育を防止し、生きづらいと感じている人に寄り添う

～夢は空より高く飛んでいく 希望と夢を結んで飛ばず 君たちにいつまでも寄り添っていたい私～
そんな想いが募って、令和3年12月、特定非営利活動法人 Future Seeds を立ち上げました。子育てで相談する人がいなくて悩んでいる人、心休まる居場所のない子どもから高齢者まで、誰もが集い、憩える、そんな場所にしたいと日々活動しています。《コミュニティサロン・食堂》

地域にかかわることが少なく、社会的に孤立が懸念される親子などが参加して、お菓子作りや子育て相談などができる場所です。また、経済的に苦しい方やコミュニケーションが難しい人たちが一緒に食事をしたり学習したりする場所の提供をしています。

(2) 地域で自分らしく生活できる社会の実現

“学校に行きにくい”と感じている子どもの居場所としてのフリースペース、親の虐待から逃げてきた子どもの隠れる場所(子どもシェルター)など生きづらさを感じている子どものためのスペースを何とか準備しようと努力しています。
子どもや保護者、そして誰もが家庭環境や障がいの有無に左右されずに地域で自分らしく生活できる社会をめざします。

12～1月の予定

12月 2日(金)	12月会議(初日)
12月 5日(月)	各常任委員会
12月 12日(月)～12月14日(水)	12月会議(代表質問、一般質問)
12月 16日(金)	12月会議(最終日)・議会運営委員会
1月 6日(金)	1月会議・議会運営委員会・全員協議会
1月 29日(日)	市民議会
1月 30日(月)	議会運営委員会・全員協議会

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。

傍聴者数
8月会議………0名
9月会議………46名



議会におでんせ!

ちんぼん

滝沢市議会 🔍 検索

市議会のくわしい情報は、滝沢市議会ホームページをご覧ください。
※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

